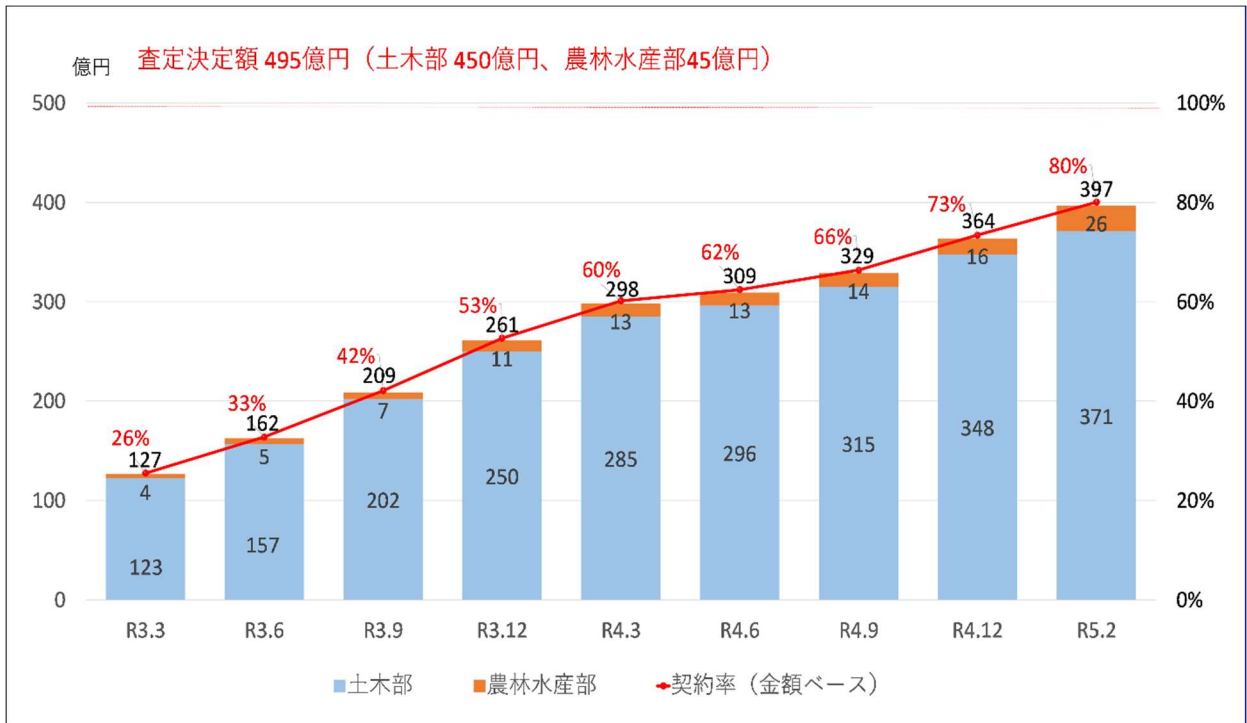


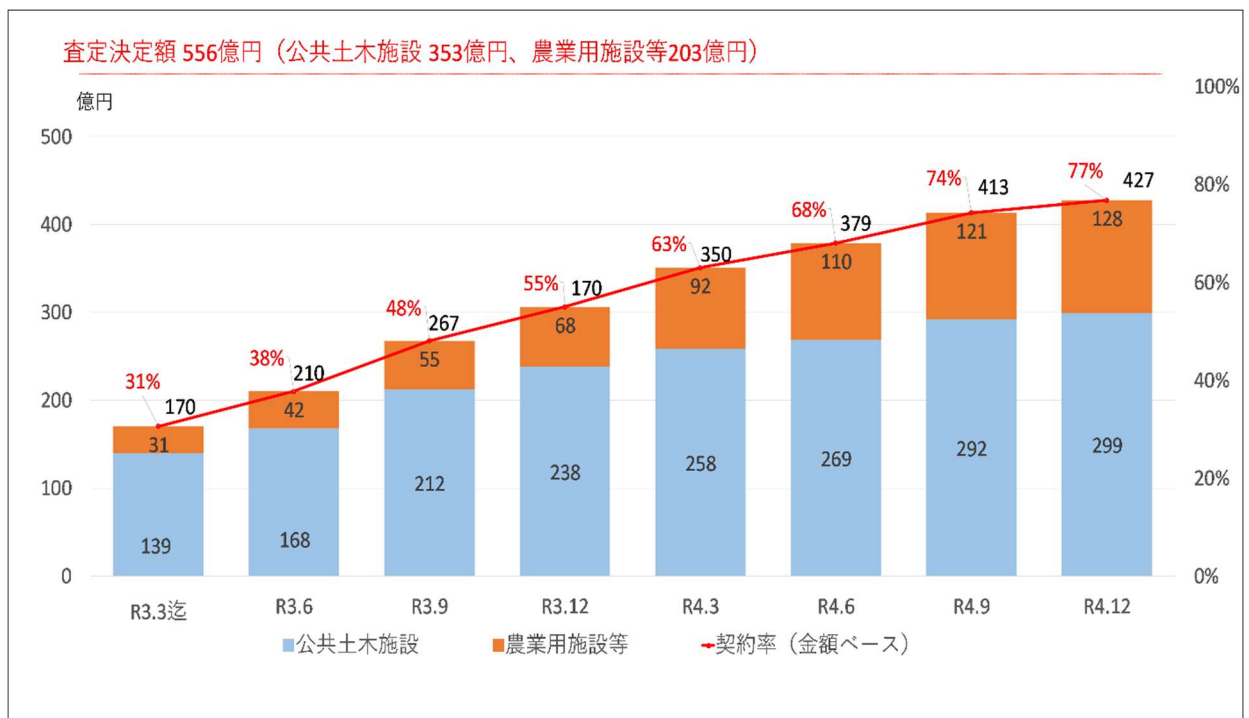
災害復旧事業の進捗状況等について

1 令和2年7月豪雨等災害復旧事業の進捗状況

全体事業費495億円のうち、令和5年2月末の契約額は397億円で、80%が契約済み



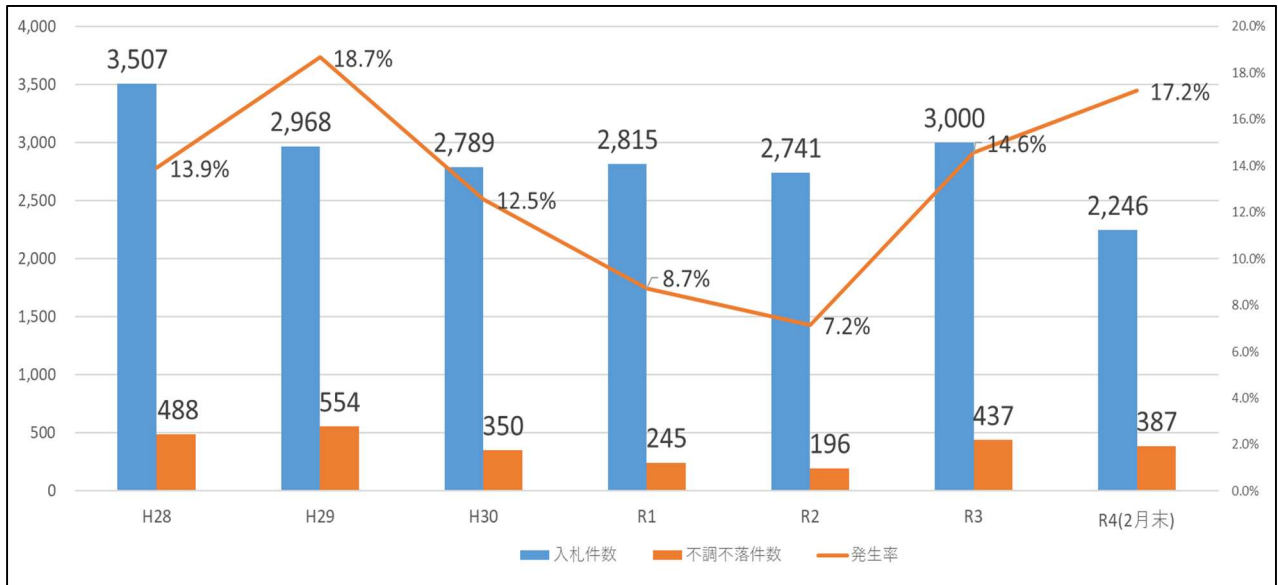
《参考》市町村の進捗状況



2 県工事（農林水産部・土木部）の不調・不落の状況

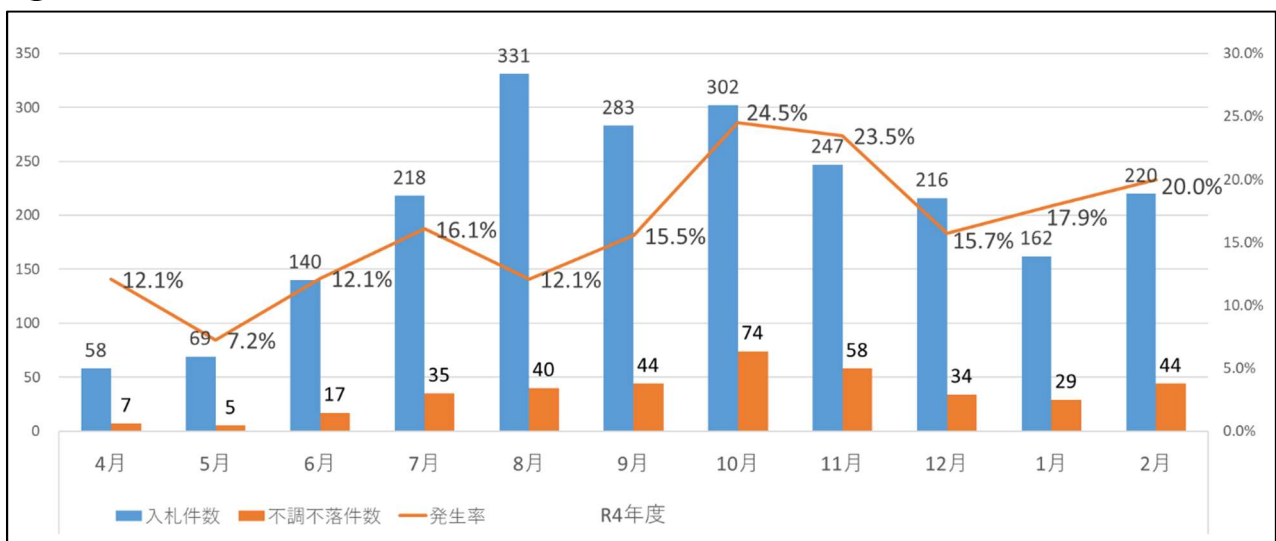
令和4年度の県工事の不調・不落率は、17.2%となっている。
 月別では、年度当初から上昇傾向にあり、令和5年2月は20.0%となっている。
 地域別では、令和2年7月豪雨災害に係る災害関連工事が集中している球磨地域において、特に不調・不落率が高くなっている。

① 年度別（熊本地震後）の状況



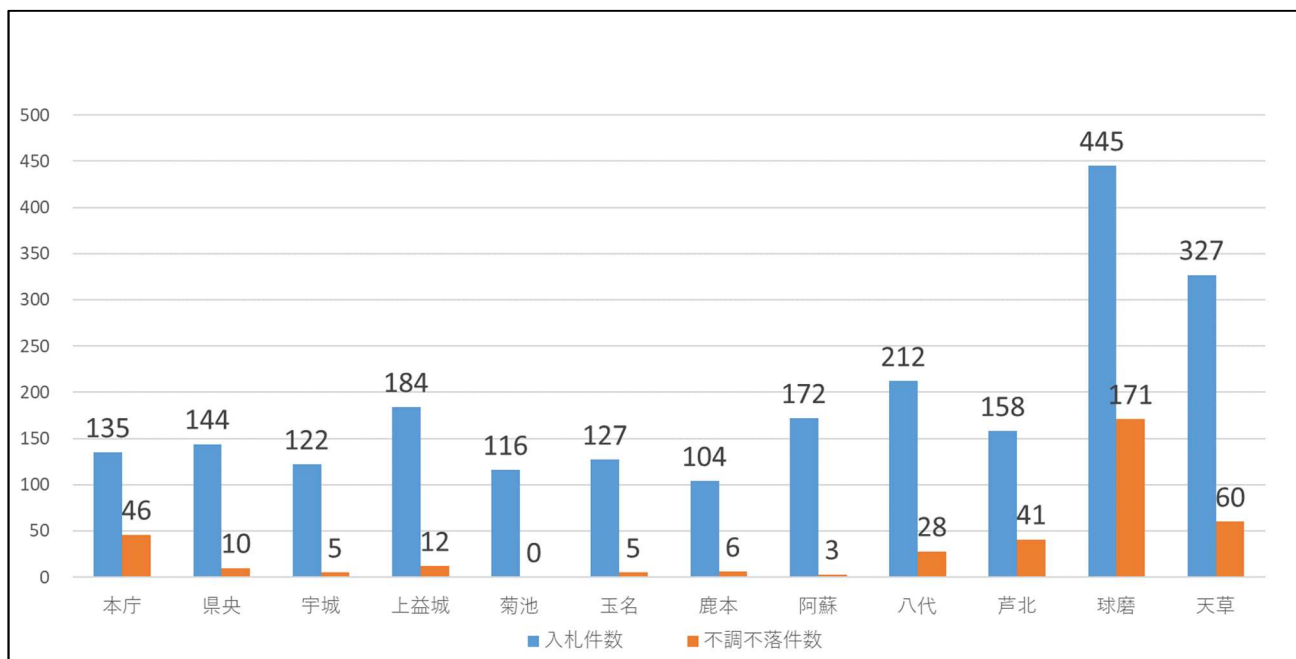
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4(2月末)
入札件数	3,507	2,968	2,789	2,815	2,741	3,000	2,246
不調不落件数	488	554	350	245	196	437	387
発生率	13.9%	18.7%	12.5%	8.7%	7.2%	14.6%	17.2%

② 月別（令和4年度）の状況



	R4年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
入札件数	58	69	140	218	331	283	302	247	216	162	220	
不調不落件数	7	5	17	35	40	44	74	58	34	29	44	
発生率	12.1%	7.2%	12.1%	16.1%	12.1%	15.5%	24.5%	23.5%	15.7%	17.9%	20.0%	

③ 発注機関別（令和4年度）の状況



	本庁	県央	宇城	上益城	菊池	玉名	鹿本	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草	合計
入札件数	135	144	122	184	116	127	104	172	212	158	445	327	2,246
不調不落件数	46	10	5	12	0	5	6	3	28	41	171	60	387
発生率	34.1%	6.9%	4.1%	6.5%	0.0%	3.9%	5.8%	1.7%	13.2%	25.9%	38.4%	18.3%	17.2%

3 令和2年災害関連等工事に係る不調・不落対策について

今年度末を期限として実施している「復興JV制度」と「B等級の発注標準引上げ」について、不調・不落の状況や来年度の発注見込み等を勘案し、県南3地域（八代・芦北・球磨）を対象に、令和5年度末まで1年間延長する。

(1) 復興JV制度（災害型総合評価落札方式）について

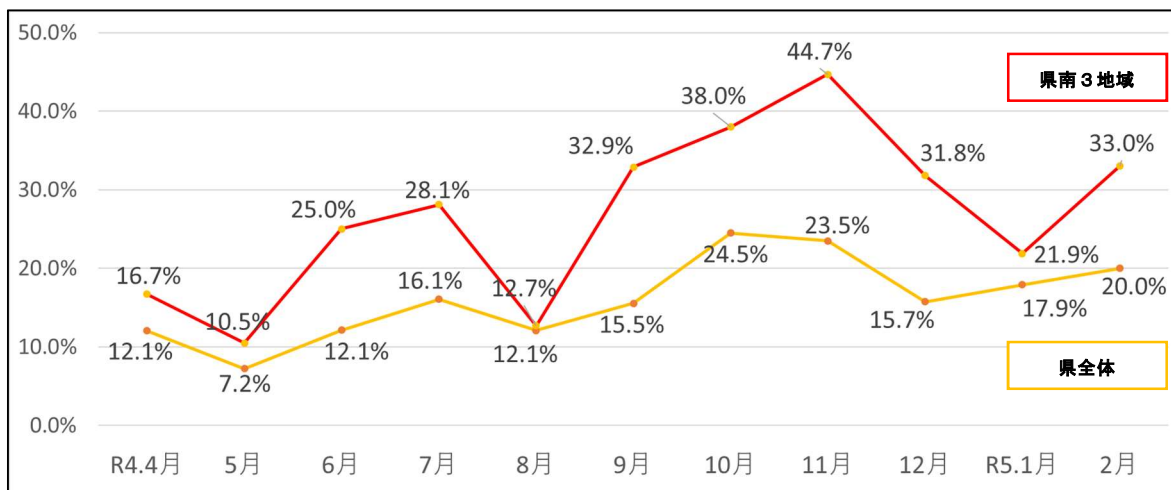
- 現在も不調・不落が発生している状況にあり、令和5年度も相当の事業量が見込まれている。
- また、県南3地域においては、復興JVによる管外企業の参入が図られている。
- これらの状況を踏まえ、現行の県内全域から県南3地域に縮小し、同制度を延長する。

①制度概要

土木一式工事（設計金額7千万円以上のA1等級工事）に県内全域のA1・A2等級企業による施工体制を確保するもの。

- 対象工事 災害関連等工事のうち、土木一式工事のA1等級工事
- JVの構成 A1・A2による2社又は3社の組合せ
(A2・A2の組合せは、予定価格1億7,000万円未満)
- 総合評価項目 ・地域精通度、地域貢献度の評価項目を設定しない
・復興JVでの入札参加者に対する加点項目あり

②県工事（農林水産部・土木部）の不調・不落の状況



③災害関連事業の発注見込み等について（農林水産部・土木部）

【単位：億円】

事業種別	事業費	R2～R4年度	R5年度	R6年度以降
災害復旧事業	495	454	23	18
災害関連事業	436	265	91	80
合計	931	719	114	98
うち県南3地域	729	538	95	96

④県南3地域への管外企業の参入状況 (R3.11月~R5.1月)

管内	八代	芦北	球磨
復興JV対象工事契約件数①	6	18	25
管外企業契約件数②	1	14	7
管外企業受注率(②/①*100)	16.7%	77.8%	28.0%
管外から参入した 企業の地域別 延べ企業数	上益城 2者	熊本 11者 菊池 3者 阿蘇 2者 上益城 3者 宇城 2者 天草 2者	熊本 2者 玉名 2者 菊池 5者 阿蘇 2者

(2) 土木一式工事B等級の発注標準引き上げについて

- 対象工事について、今後の発注予定があり、令和4年度中の契約を目指すものの、入札不調となった場合、令和5年度の再入札も避けられない状況。
- このため、県南3地域で実施している同制度を延長する。

①制度概要

復興JVとしてA2等級企業によるA1等級工事への積極的な参入を促すため、A2等級工事の小規模なものについて、B等級企業に発注するもの。

○対象工事 災害関連等工事の土木一式工事

B等級の請負対象金額1,500万円未満を3,000万円未満に引き上げ

②対象工事の発注状況 (令和5年2月末時点)

(災害関連等工事1,500万円以上3,000万円未満)

【単位：件】

管内	契約済	今後発注予定	各局計
県南(八代)	4	1	5
芦北	7	4	11
球磨	17	26	43
3局計	28	31	59

益城町の復興まちづくりの進捗状況について

1 熊本高森線4車線化事業について

<現在の状況> (令和5年2月末時点)

- 用地について、約95%(地権者数)が契約済
- 昨年12月末に、木山交差点を暫定形での供用開始

<今後の予定>

- ☆今月28日に、起点側(熊本市側)から約800m区間を4車線での供用開始
- ☆令和5年度末までに、惣領交差点までの約1.6km区間の供用開始を目標

4車線化事業	用地	契約済 257人 全270人		
		95.1%		
	歩道部	うち供用開始 2,725m	着手延長 4,491m	合計 6,670m
		40.9%	67.3%	
車道部	うち供用開始予定 約800m	着手延長 1,536m	合計 3,335m	
	24.0%	46.1%		

参考



裏面へ

2 益城中央被災市街地復興土地区画整理事業について

<現在の状況> (令和5年2月末時点)

○仮換地指定について、約8割(画地数)が指定済

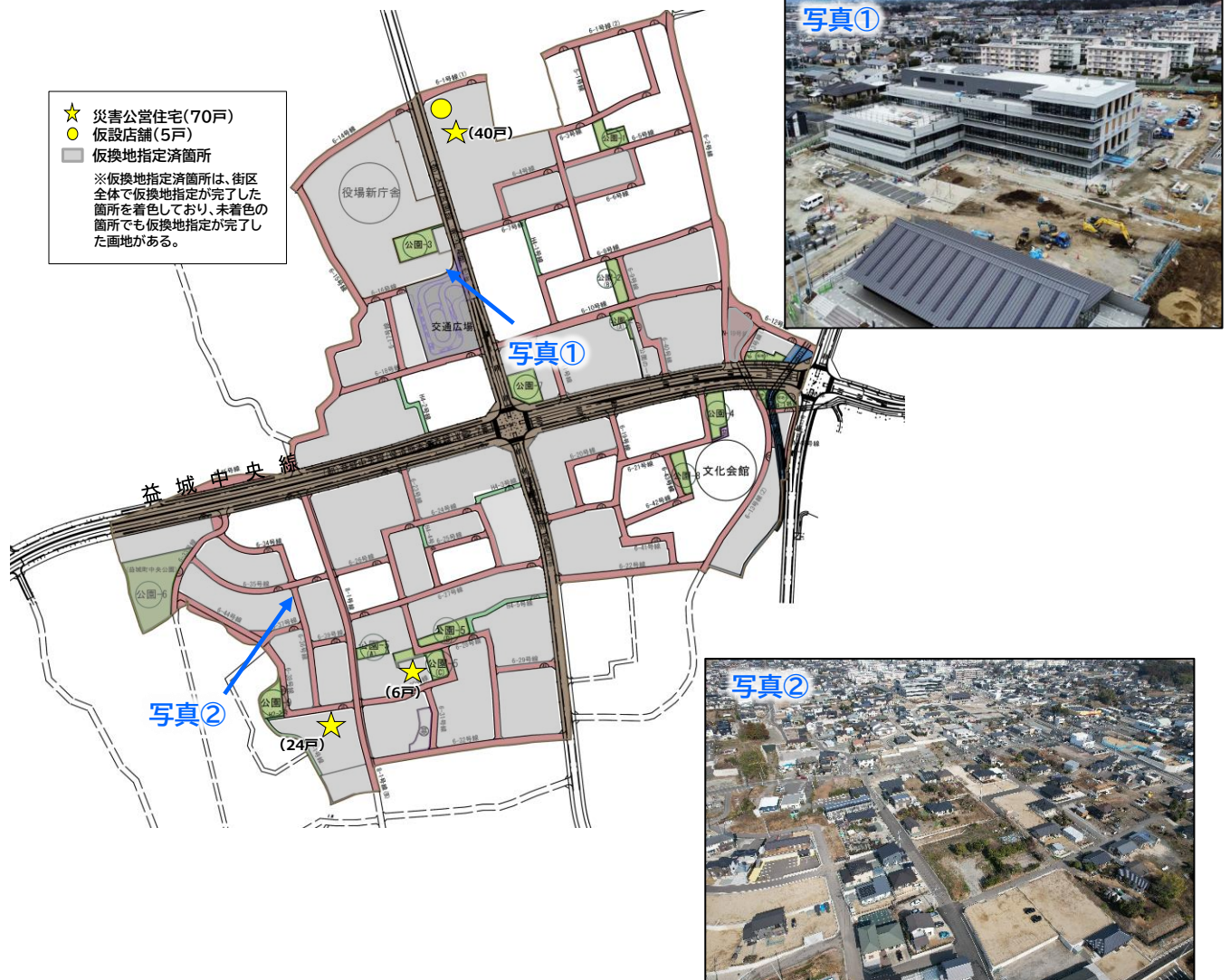
○宅地造成工事が完成した139画地の引渡しを完了

<今後の予定>

☆令和5年度末までに、最も被害が大きかった宮園地区について、概ねの宅地引渡しを目指す。

土地 区画 整理 事業	仮換地	指定済 369画地		全467画地
		79.0%		
工 事		うち引渡し済 139画地	着手 238画地	全467画地
		29.8%	51.0%	

参考



令和5年3月14日
都市計画課

人吉市青井地区の土地区画整理事業の進捗状況について

1 青井被災市街地復興土地区画整理事業について

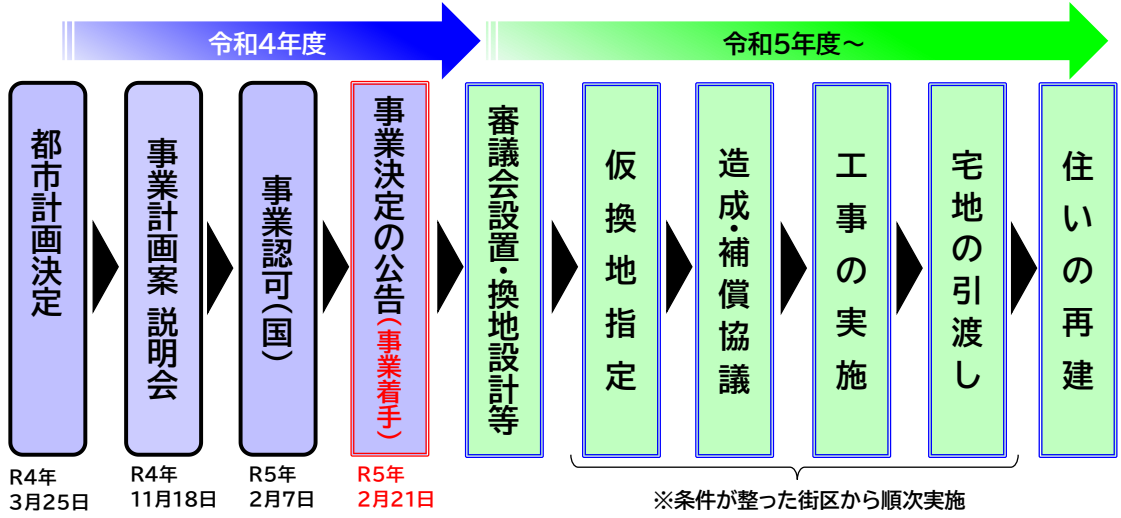
<現在の状況> (令和5年2月末時点)

- 令和5年2月7日:国土交通省からの事業認可
- 令和5年2月21日:事業計画決定の公告(事業着手)
- 令和5年2月22日:事業認可後の説明会を開催

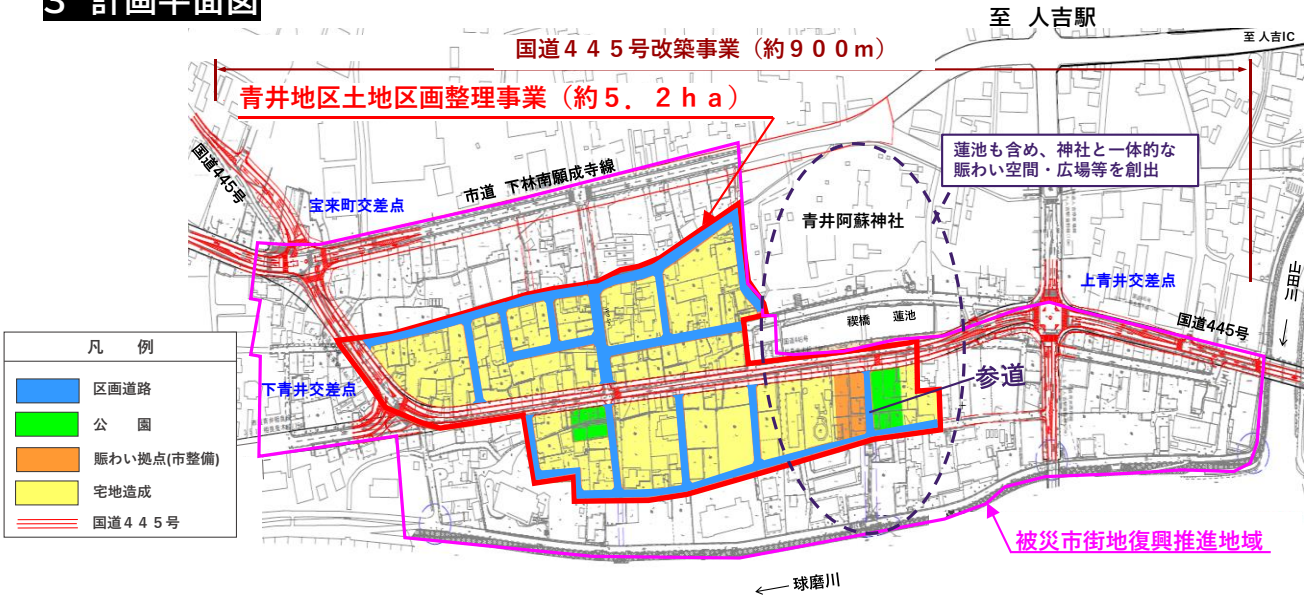
<今後の予定>

☆審議会の設置や換地設計等を進め、一日も早い仮換地指定を目指す

2 今後の流れ



3 計画平面図



緑の流域治水の推進と五木村・相良村の振興について

1. 緑の流域治水の主な取組状況

(1) 流水型ダムについて

①環境アセスメントの進捗状況

- ・国において、昨年11月14日に「環境影響評価方法レポート」が公表され、昨年12月28日まで、一般からの意見聴取が実施。
- ・一般からの意見に加え、1月16日に開催された「流水型ダムに係る環境影響評価審査会」や流域市町村長の意見等を踏まえ、今後、知事意見を提出予定。

②「流水型ダムの事業の方向性・進捗を確認する仕組み(以下「仕組み」)」

- ・新たな流水型ダムが、安全・安心を最大化するものであるとともに、球磨川・川辺川の環境に極限まで配慮し、清流を守るものとして整備が進められているのか、事業の方向性や進捗を確認する「仕組み」の第1回会議を、昨年12月25日に開催。
- ・会議では、流水型ダムの構造や環境影響評価について、現在の検討及び進捗状況等を確認。今後、流水型ダムに関する情報の県民への周知を図っていく。

構成員：熊本県（副知事（座長））、国土交通省九州地方整備局、流域市町村
流域住民、有識者（河川工学・環境）

構成員からの主な御意見

- ・下部の放流口について、魚が遡上できるよう、よく検討して欲しい
- ・山の土砂の流入対策も、ダムの建設、設計に考慮して欲しい
- ・流水型ダム事業に当たっては水質の保全をお願いする
- ・五木村、相良村の思いをしっかりと受け止めて欲しい
- ・「緑の流域治水」として、堆積土砂の撤去や山の対策なども進めて欲しい

(2) 宅地かさ上げ・輪中堤の進捗状況について

- ・宅地かさ上げ等の対象となる各地区で説明会や現地見学会などを開催し、整備方針が決定した地区から順次、設計・用地測量等に着手。
- ・先月19日には、球磨村神瀬地区において、豪雨災害後初となる宅地かさ上げ事業の着工式を開催。



宅地かさ上げ事業（神瀬地区）着工式

(3) 県管理支川の整備の推進について

- ・先月22日に、球磨川水系河川整備計画〔県管理区間〕に基づき、田頭川（あさぎり町）の河道整備に関する地元説明会を開催。
- ・令和5年度下半期の工事着手に向け、現在、用地測量等を実施中。



田頭川（あさぎり町）の地元説明会

(4) 水防災意識の醸成について

- ・ 1月21日に、NPO法人と国・県・八代市とが連携し、防災に関するパネル展示や、浸水想定区域図などの災害リスク情報の入手方法を周知するなど水防災意識の醸成を図る取組みを推進。

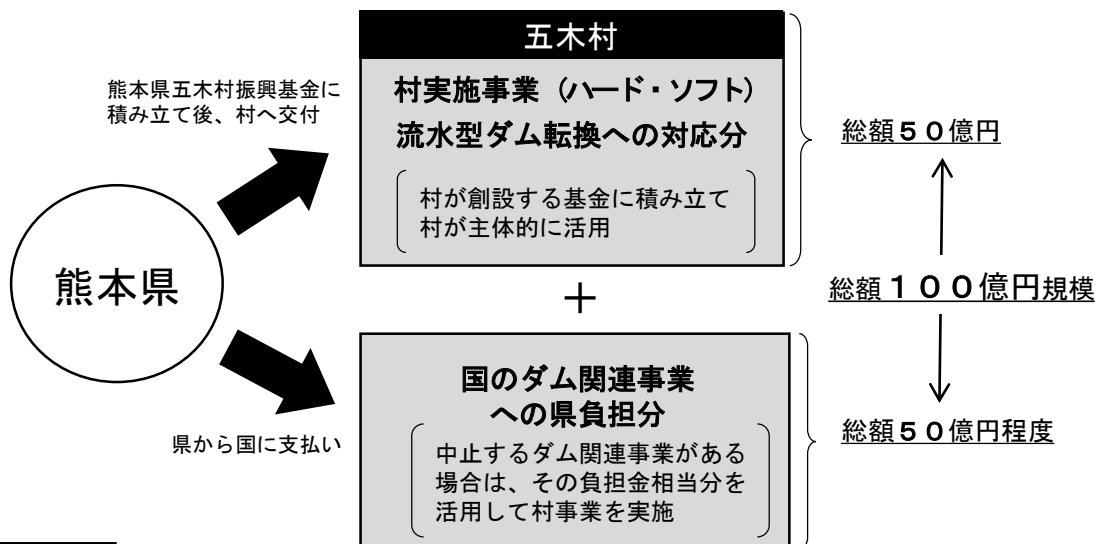


2. 五木村・相良村の振興について

五木村

- ・ これまで、新たな振興計画の策定に向け、五木村及び村議会と意見交換を重ねてきた。
- ・ 1月21日には、知事が五木村を訪問し、村及び村議会と意見交換を実施。その中で、新たな振興計画の実効性と継続性を担保するため、概ね20年間の中長期的な財政支援を行うことを伝えた。
- ・ 具体的には、計画に基づく村の事業に活用する分と、国のダム関連事業への県の直轄事業負担金分(※)を合わせて、総額100億円規模の財政支援の枠組みを示した。
 - (※) 中止するダム関連事業がある場合は、その負担金相当分を活用して、国・県・村で協議の上、村に必要な事業を実施
- ・ このうち、村の事業に活用する分の50億円は、県から村に段階的に交付。来年度は、そのうち10億円を一括して村に交付する予定。
- ・ 今月中には、国・県・村で、今後の五木村の振興を協議する場を設け、新たな振興計画を策定する予定。

(参考) 五木村への財政支援の枠組み



相良村

- ・ 昨年10月に相良村から提案のあった村の振興策について、田嶋副知事をトップとする相良村振興推進会議のもと、全庁挙げて県の支援策を検討中。
- ・ 今月中に第2回相良村振興推進会議を開催し、県としての支援策を取りまとめたうえで、村に提示を予定。